

共創モデル実証プロジェクトによる取組（令和 5 年度）

1. 豊岡市	1
路線バスキャッシュレス化実証事業「但馬スマホタッチ支払い」	
2. 養父市	6
関宮地区でのデマンド型交通実証実験	



路線バスキャッシュレス化実証事業 「但馬スマホタッチ支払い」 実施状況報告

豊岡市都市整備課交通政策係



事業目的

- 路線バスの利用実態可視化による現状把握と課題整理
- 効率性と利便性のバランスに配慮したバス路線の再編に向けた知見獲得
- キャッシュレス環境の実装に向けた課題抽出
- 設立を目指す交通連合におけるバスと鉄道の相互連携施策や但馬地域全体の交通政策への実証結果の活用

実施期間、実証内容と対象区間

□ 実施期間

2023年11月15日～2024年2月14日

□ 実証内容と対象区間

	実証内容	対象区間
1	距離別及び定額運賃精算	市街地循環バス「コバス」
		豊岡出石線、奥藤線
		玄武洞公園直通バス「ちよい観光バス」
2	通勤、通学デジタル定期	豊岡出石線、奥藤線
3	企画商品	往復バス乗車券付 出石食べ歩きデジタルクーポン

3

事業主体、事業費

□ 実施主体

全但バス(株)、(一社)豊岡観光イノベーション、KDDI(株)、豊岡市

□ 事業費

20,654千円

国土交通省

「令和5年度共創モデル実証プロジェクト（共創による地域交通形成支援事業）」

※自己負担額を全但バス(株)と豊岡市で等分負担

4

実施状況 – NFCタグ設置状況 –

スマホタッチ支払い



往復バス乗車券付 出石食べ歩きデジタルクーポン



5

実施状況 – 通勤、通学デジタル定期券登録説明会 –



豊岡市役所職員



近畿大学附属豊岡高校



出石高校



豊岡総合高校

6

実施状況 - 乗車体験会 -



但馬地域内交通政策担当者、報道関係者、全但バス(株)、KDDI(株) 豊岡市都市整備部 計20名参加

7

実施状況 - 報道 -

バス運賃 スマホで支払い



全但バスや豊岡市実証実験

専用アプリ不要 ■ ICカード導入より安価

全但バス(株)と豊岡市などは、スマートフォンで路線バスの運賃を支払う実証実験を始めた。キャッシュレス決済で乗り降り念スムーズになるとともに、乗降データを自動的に利用実態を把握し、効率のよいバス路線の再編につなげる。



全但バス(株)と豊岡市などは、スマートフォンで路線バスの運賃を支払う実証実験を始めた。キャッシュレス決済で乗り降り念スムーズになるとともに、乗降データを自動的に利用実態を把握し、効率のよいバス路線の再編につなげる。

11月29日 読売新聞

クロスアップ豊岡

2023年12月14日

スマホをかざすだけでバス運賃を自動計算・支払いができる。『但馬スマホタッチ支払い』実証実験中

乗降時、定額運賃情報
 ●乗降時刻情報(バス「スマホ」)
 ●乗降回数、乗降場所
 ●各駅間乗降回数(「ふゆい」専用バス)

路線・運賃情報
 ●乗降履歴

実証実験中に対応店舗の店舗で
 電子マネー決済が可能な「スマホ」が導入された。利用客専用アプリは「スマホ」
 ●乗降履歴を「スマホ」に連携し、アプリを起動すると利用客の乗降履歴に
 Amazonギフトカード(最大2,000円分)プレゼント
 ●乗降履歴を「スマホ」に連携し、アプリを起動すると利用客の乗降履歴に
 最大1,000円分の電子マネーが還元される。また、乗降履歴を「スマホ」に連携し、
 最大1,000円分の電子マネーが還元される。

12月6日 神戸新聞

市広報誌 広報とよおか12月号

8

実績及びKPI

2024.1.28現在

ロアウトカム

項目	KPI	実績	摘要
サービス利用満足度	4.0	終了後	実施後【効果測定アンケート】5段階点数の平均値
サービス継続利用意向	80.0%	終了後	実施後【効果測定アンケート】「これからも使いたい」回答者割合

ロアウトプット

項目	KPI	実績	摘要
スマホタッチ支払い（距離別・定額運賃精算）登録者数	—	85	
スマホタッチ支払い（距離別・定額運賃精算）利用者数	—	35	総利用回数：99回、利用総額30,700円
通勤・通学デジタル定期券 登録数	—	114	
通勤・通学デジタル定期券 利用数	—	77	
通勤・通学デジタル定期券 利用率	60%	終了後	紙定期券保有者に対する割合
往復バス乗車券付 出石食べ歩きクーポン販売数	32枚	6枚	9

今後の取組み（効果検証、展開案整理）

- 利用者及び事業者（乗務員、営業所社員）へのアンケート調査の実施
- 取得した実証データに基づく検証
- オペレーション上の課題整理
- バスと鉄道の相互連携施策実施に向けた課題整理
- キャッシュレス化の影響検証、考察
- 2024年度以降の展開案整理

兵庫県養父市関宮小さな拠点 共創モデル実証プロジェクトの取組について

養父市関宮地域について

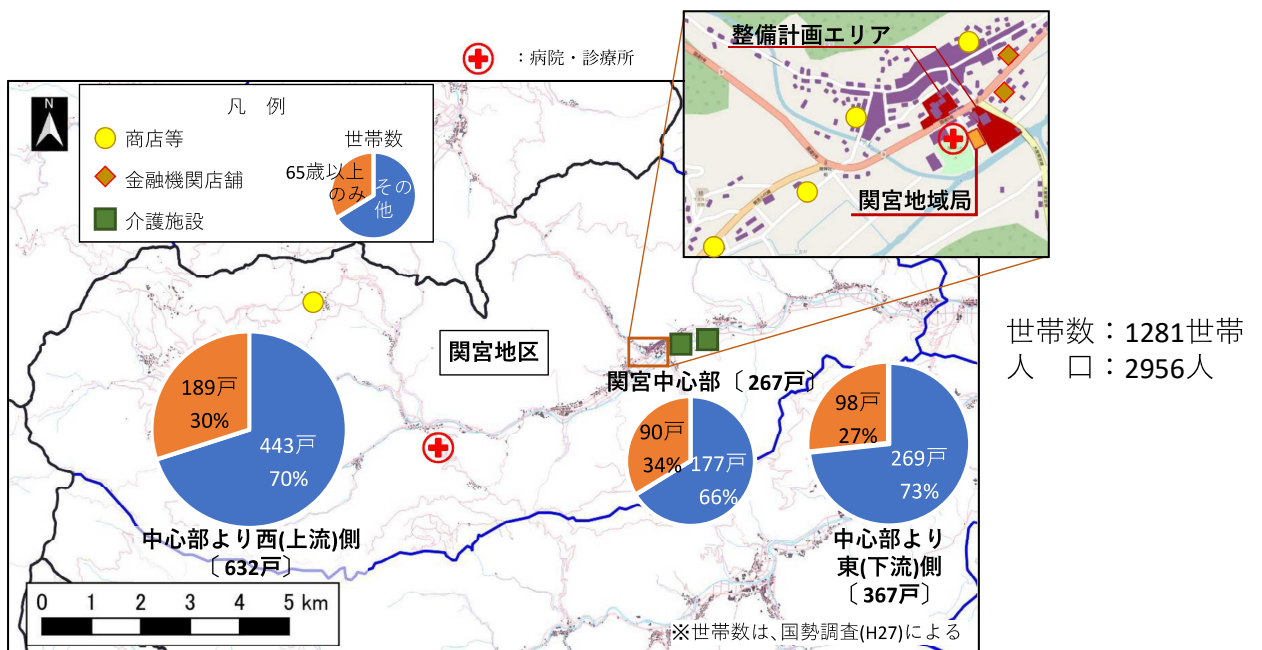


図2 関宮地域の位置と概況

参照：養父市養父市関宮地区 小さな拠点整備基本計画

「関宮地区小さな拠点整備計画」について

※この図は検討に基づくイメージであり、実際の施工状況を示すものではありません。



図10 施設配置のイメージ(整備エリア1)

参照：養父市養父市関宮地区 小さな拠点整備基本計画

養父市内のバス路線について

- ・路線バス 12路線
- ・コミュニティバス 3地区5路線
- ・自家用有償運送 2地区1路線1区域
- ・自家用有償観光旅客運送 2区域



参照：兵庫県但馬公共交通計画

・実証実験実施団体

養父市

(一般財団法人)日本自動車研究所

(NPO法人)但馬を結んで育つ会

(NPO法人)養父市マイカー運送ネットワーク

(社会福祉法人)養父市社会福祉協議会

セイノーホールディングス(株)

全但バス . . . 7団体

・協力

大谷校区協議会、関宮まちづくり協議会、出合校区協議会、熊次地区自治協議会 . . . 4団体

5

・主な実証内容

- ① セミデマンド方式とフルデマンド方式に区分し、それぞれ利用可能地域を定め、「デマンド運行」の実証を行う。
- ② 乗り換え時の待ち時間を過ごすスペース「にぎわい待合所」を設置し、必要な機能の検討を行う。

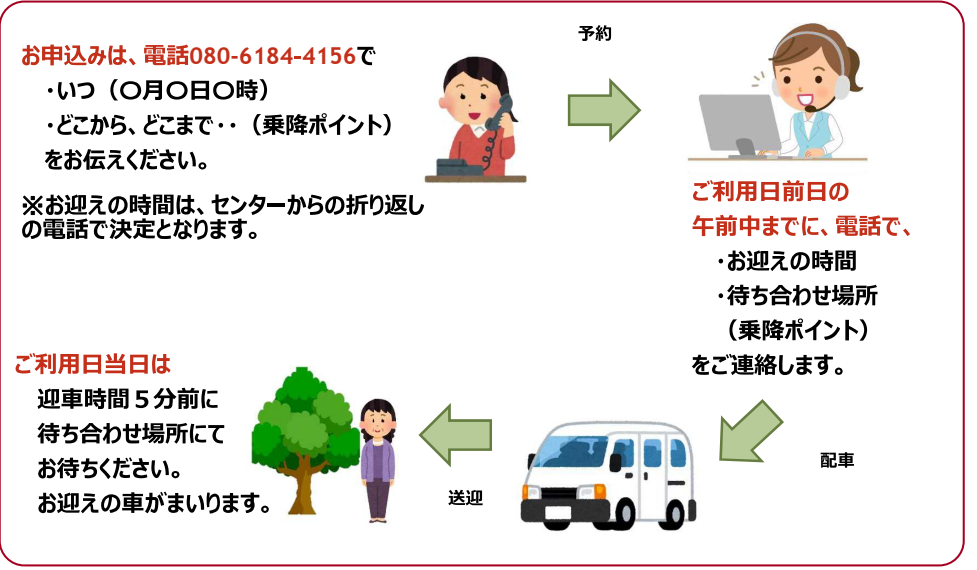
・実証期間 2023年10月28日～11月10日

・運行台数 平常3～4台（最大6台）

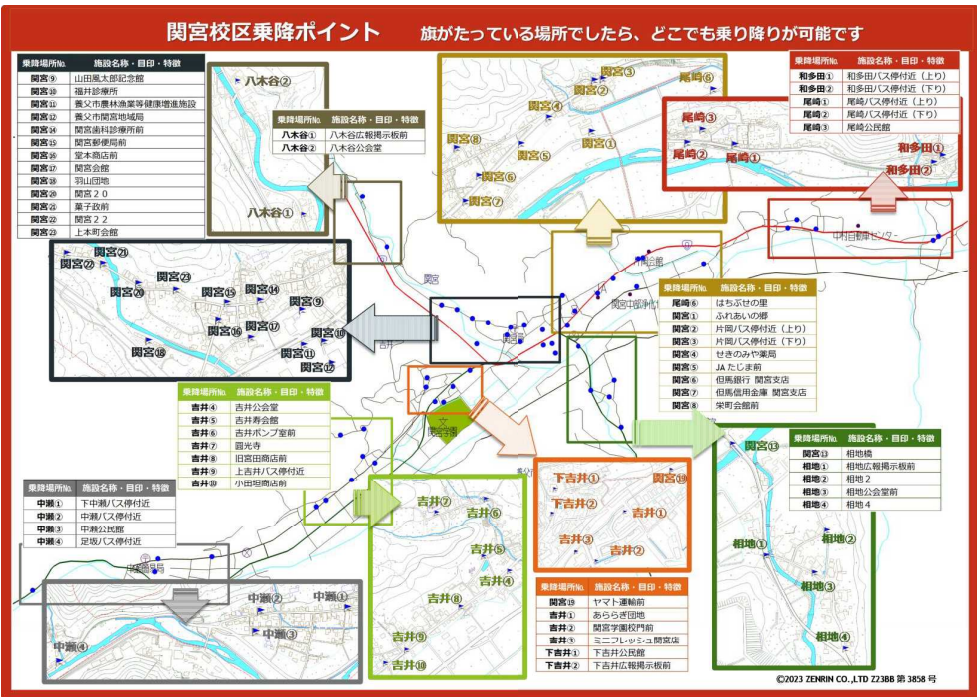
・料金 無料

6

予約の流れ



乗降ポイントの設定





実験使用車両及び出合診療所

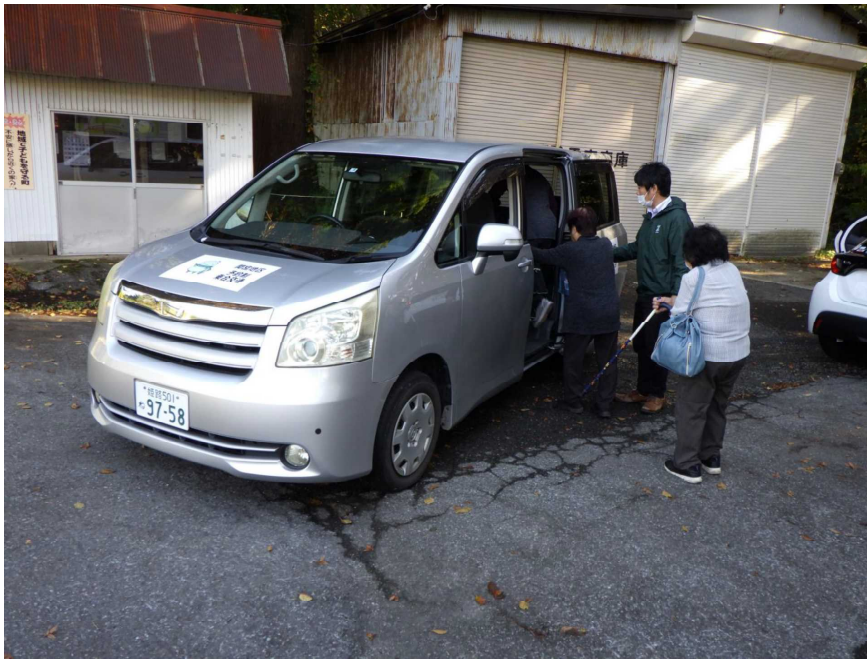
予約エリア制について

実証実験の日程 曜日ごとに利用できる地域の方が変わります。

運行日	利用いただける地域の方	利用可能エリア	運行方法
10月28日 土	関宮地域全域 にお住まいの方の利用が可能	関宮文化祭開催日のため、出発地・目的地のいずれかが、関宮地域局となります。	下記の2時間枠毎に運行します。 ① 8時～10時 ② 10時～12時 ③ 12時～14時 ④ 14時～16時 例えば8:30でお申し込みをいただいても、9:30頃のお迎えになることもあります。 ※事前予約が必要です。
29日 日			
30日 月	出合校区にお住まいの方限定	出発地・目的とも、お住まいの地域に関わらず、関宮地域全域でご利用いただけます。	
31日 火	関宮校区にお住まいの方限定		
11月 1日 水	熊次校区にお住まいの方限定		
2日 木	大谷校区にお住まいの方限定		
3日 金			
4日 土	関宮地域全域 にお住まいの方の利用が可能	関宮地域局にて、イベントを実施するため、出発地・目的地のいずれかが、関宮地域局となります。	随時運行します。朝8時～夕方16時の間であれば、ご希望の時間でお申し込みいただけます。 ※事前予約が必要です。
5日 日			
6日 月	出合校区にお住まいの方限定	出発地・目的とも、お住まいの地域に関わらず、関宮地域全域でご利用いただけます。	
7日 火	関宮校区にお住まいの方限定		
8日 水	熊次校区にお住まいの方限定		
9日 木	大谷校区にお住まいの方限定		
10日 金			

予約時間に幅
(セミデマンド)

希望時間
(フルデマンド)



実験使用車両及び乗車の様子

11



にぎわい待合所

12

		対象地域	実人数	のべ人数
10月28日	土	全域	4	8
10月29日	日	全域	1	2
10月30日	月	出合	26	52
10月31日	火	関宮	1	2
11月1日	水	関宮	8	16
11月2日	木	熊次	2	4
11月3日	金	大谷	0	0
11月4日	土	全域	7	13
11月5日	日	全域	3	5
11月6日	月	出合	14	27
11月7日	火	関宮	31	61
11月8日	水	関宮	14	28
11月9日	木	熊次	6	11
11月10日	金	大谷	15	30
合計			132	259

2週間の合計	132人	259人
--------	------	------

今後の取組について

- ・ 実証実験を重ね地域での最適化を経て実装
 - 次年度以降の実証実験の継続
 - 過去の实証実験の評価、分析を踏まえ内容を精査
- ・ 交通事業者との連携を進めていくことが必要
 - 実装に向け交通事業者と協議調整の場を設定
- ・ 交通課題を地域住民に自分事として捉えてもらう
 - 地域社会全体で新しい交通体系や移動の方法を考えてもらうことが必要

